

議案第1号

令和5年度 事業報告

我が国における少子高齢化の進展とそれに伴う生産年齢人口の減少により、働く意欲のある高齢者がその能力や経験を活かして、年齢にかかわらず活躍できる社会環境整備が求められています。そのため、高齢者に多様な就業機会を提供し、会員の生きがいの充実や健康の維持増進を図り、地域社会に貢献するシルバー人材センターへの期待は、益々大きなものとなっています。

新型コロナは、5月に感染法上の分類が2類相当から5類へ移行され、社会経済活動は日常が戻り、回復傾向で推移しているものの、10月に施行されたインボイス制度や今後のフリーランス法への対応など、シルバー事業を取り巻く環境は大きく変化し、今後も厳しい状況が懸念されます。こうした状況に対応し、安定した事業運営を行うための指針として策定された「第4期中期5カ年計画」の目標達成に向け、会員・役職員が一丸となった取り組みを行っていく必要があります。

本年度の具体的な事業実績ですが、年度末の会員数は592人で前年比3.3%（20人）の減となり、会員の体調や家庭の事情により退会者が増加し、昨年度に引き続いて減少する結果となりました。契約金額は3億8,886万円余で前年比2.6%（1,039万円）の減少となり、派遣就業を含めた事業実績についても4億383万円余と、前年比2.3%（935万円）の減少となりました。また、就労単価の見直しを行ったことを考慮すると実質的な減少幅はさらに大きくなり、新型コロナ感染症発生前の事業実績には戻らない状況です。

契約額を部門別にみると、公共部門は3.8%（368万円）の減、民間部門の事業所等においては1.9%（441万円）の減、一般家庭部門においても1.4%（126万円）の減となり、昨年度は増加した実績が、いずれも減少に転じる結果となりました。

就業については、請負委任を基本としつつ、適正就業の推進のため「適正就業ガイドライン」に基づき「労働者派遣事業」と「有料職業紹介事業」にそれぞれ取り組み、令和5年度においては、労働者派遣事業で12社での就業が可能となりました。

安全対策では「安全は全てに優先する」を基本に事故ゼロを目指し、「作業前ミーティング」の励行を重点に推進してきました。しかし、本年度は7件の事故が発生し、件数は減少したものの入院に至る重傷事故も複数件発生しています。安全講習会への出席を義務づけ安全意識の向上を図るなど、今後も事故防止に向けた積極的な取り組みが必要となります。

